

研究主題	自分を見つめ、他者と関わり合い、より深くより広く、考える児童の育成 ～道徳科の授業づくりを通して～
主題設定の理由	<p>1 研究主題設定の理由</p> <p>近年、変化の激しい社会において、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことが、ますます求められている。</p> <p>そこで本校では、令和2年度から、「読む道徳」から「考え議論する道徳」への転換を図る授業づくりを通して、一人一人がじっくりと考え、他者の考えを受け止めて、自分の考えを深化させたり、広げたりする児童を育成したいと考え、本研究主題を設定している。「発問の検討」と「他者との関わり合う場面の設定」を柱とし、研究に取り組んだ成果と課題を次のとおりである。</p> <p>○成果</p> <p>【発問に関わって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値にせまる場面を明らかにし、発問を絞り込み、一人一人がじっくり考えられる場面を設定した。さらに問い返し発問をすることで、児童同士の意見交流の質を上げ、考えを深めさせることができた。 ・発問を絞り込むことで、じっくり考えさせたい場面に時間をかけ、児童同士の意見交流の時間を確保することができた。 <p>【対話的な場面の設定に関わって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料によって、導入、展開、終末など、様々な場面で対話場面を設定した。対話を通して、自分一人では気づけなかったことに気づくことができ、道徳的価値が高められた。 <p>【児童アンケートの結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えと友達の考えを比べながら、しっかりと考えて自分の考えが深まった」…肯定的回答 83.3% (目標値 80%) <p>●課題</p> <p>【発問の絞り込みに関わって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいにせまる道徳的価値がぶれてしまい、話し合う内容が多岐にわたってしまった。 <p>【対話的な場面の設定に関わって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価値の深まり…と考えると、十分なところまで致っていない。 ・授業展開に応じた対話場面が仕組みきれないことがあった。 <p>【児童アンケートの結果から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えと友達の考えを比べながら、しっかりと考えて自分の考えが深まった」の肯定的回答をする児童が固定化している。このことから、中心的価値について考えを深めさせる発問の工夫や他者との関わり合う場面設定に継続して取り組む必要があると考える。 <p>2 研究主題のとらえ</p> <p>本校における「自分を見つめる」とは、「自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるようになること」ととらえる。また、「他者と関わり合い、より深くより広く、考える」とは、道徳科の授業の中で、登場人物や学級の友達の思いや考えに触れ、それを受け入れたり、自分の考えと比較したりすることで、自分の考えを深化させ、多面的に見つめ直すこととする。</p>
研究仮説	発問を絞り込み、他者との関わり合いの場面を設定し、「読む道徳」から「考え議論する道徳」へと授業改善を図れば、一人一人がじっくりと考え、他者の考えを受け止めて、自分の考えを深化させたり、広げたりする児童を育成することができるであろう。
研究内容	<p>1 発問の検討～教材分析シートを活用して、発問を絞り込み、問い返しの発問の質を上げる～</p> <p>教材分析シートの作成を通して、ねらいとする道徳的価値に迫る場面を明らかにする。道徳的な中心場面について考える上で、共通認識が必要な内容の発問だけに絞る。このようにして、中心的な場面について、一人一人がじっくりと考えなければ結論が導き出せないような発問を作り出し、児童同士の意見交流の質を上げる。</p> <p>2 授業における対話場面の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入で取り入れる……一読後、なぜ？と思うところをグループで話し合う。どういう思いで登場人物がポイントとなる箇所の行動をしたのかを検討する。 ・展開で取り入れる……ペアやグループで役割演技を通して考えさせる方法を取り入れる。 ・終末で取り入れる……教師の説話、ペアやグループや全体での振り返りの共有を行い、道徳的価値の実践化への意欲向上につなげる。
検証の指標及び検証方法	<p>1 児童アンケート「自分の考えと友達の考えを比べながら、しっかりと考えて自分の考えが深まった」児童 80%以上</p> <p>2 教師アンケート(4段階評価)「児童は、自分の考えと友達の考えを比べながら、しっかりと考えて自分の考えを深めることができている」の平均値 2.8 以上</p> <p>3 i-Check において、自己肯定感(自分のよさの自覚・得意なことがある・努力して嬉しい・認められている)に係る 4 項目の肯定的回答をした児童 85%以上(令和4年度 12 月実施の校内での追調査84.8%)</p>
研究構想図	川西小学校研究構想図(P10)